

大王やし



発行所 台中日本人学校（台中市日僑学校） 電話 04-2567-2079

ホームページ <https://asp.schoolweb.ne.jp/48040001>

e-mail tjs97@ms18.hinet.net

FAX 04-2567-2085

校長室から

校長 原 宏次

長い春休みが明け、子どもたちの笑顔が台中校に戻ってきました。

4月12日の入学式では、小学部1年生13名、中学部1年生13名の新入生を迎え、小学部88名・中学部31名、あわせて全校児童生徒119名、10学級で令和7年度がスタートしました。

すべての子どもたちが、この台中校を「自分の居場所」と感じ、毎日の登校が楽しみになるような学校でありたい——そんな願いのもと、今年度の学校教育目標と経営の重点を定めました。

保護者の皆様、そして関係の皆様方のご理解とご協力を賜りながら、教職員25名が一丸となって、子どもたち一人一人の成長を支えてまいります。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

○ 学校教育目標

生きる力と国際性を身につけた、心身ともに健全な子どもの育成

～ やる気 ・ しんけんに ・ 丸い心で ～

あいさつ世界一、温かさで活気のある台中校を創ろう

○ 本校教育がめざす具体的な姿

一人一人が大切にされる学校づくりをめざして

I 学校経営の基本的な考え

すべての子どもたちが「自分は大切にされている」と実感し、自分自身を尊重しながら他者も大切にする心を育むことをめざします。

そのために、台中校は、安全で安心できる環境のもと、一人一人が「よいところ」を素直に受け止め、伸ばすことができる場であり、子どもたちが自分の目標に向かって、遠慮なく自分を表現できる学校でもありたいと思います。

II めざす学校像

- 子どもにとって「一人一人が大切にされる学校」とは
 - ・ 「公正に個別最適化された学び」の実現される学校
(すべての子どもが学ぶ喜びを感じながら、自分の力を伸ばせるようにすること)
 - ・ 「自己有用感(自分は大切にされている・自分は必要とされている など)」を実感できる学校

III めざす子ども像

- できるようになりたいと強く願い、チャレンジする子ども
- 思いやりをもち、自分や他者のために行動する子ども
- 自分の心と体を知り、よりよくなるために行動する子ども

IV 「一人一人が大切にされる」ために

1. 子どもたちにとって「一人一人が大切にされる」とは？

- (1) 信頼できる大人といっしょに過ごす安心感
- (2) 自分の思いを自由に表現できる機会の保障
- (3) 自分を大切に思う心の育成
- (4) 他者(人・もの・できごと)を大切に思う心と行動の発現

2. 具体的な取り組み

(1) 安全・安心な教育の推進

- ① 学校生活に起因する諸課題～学校全体で組織的解決を図ります。
 - ・ いじめはどの子にも、どの学級でも起こり得るという視点で
- ② 規範意識の向上～授業規律を大切に
- ③ 情報モラル教育～自分の生活ルールを自己決定できる子どもの育成

(2) 未来を切り拓く学力・体力の向上

- ① 確かな学力の定着
 - ・ 「情報活用能力の育成」⇒より強固な「学習基盤」の育成
 - ・ 「主体的・対話的で深い学びの実現」⇒「協働的な学び」の実現
- ② 体力向上への取組
 - ・ 教科体育の充実(運動領域が偏らない・子ども自身が考え工夫する体育へ)
 - ・ 外遊びの機会・内容の工夫、充実
- ③ 自分の健康への関心を高める
 - ・ 自身の睡眠時間や姿勢等の健康状態に関心をもち、実践に導く

(3) 学びを支える教育環境の充実

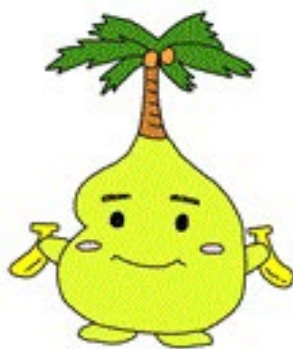
- ① 教育DXの推進
 - ・ AIドリル「すらら(株)すららネット)」の導入・活用

- ・ 協働学習支援ツール「ミライシード(株)ベネッセコーポレーション」の導入・活用
- ・ 校内 LAN 環境の充実・改善

(4) 在外教育施設ならではの教育活動の充実

- ① 現地校との交流活動
- ② 現地理解教育の系統的・組織的実践(主に小学部)
- ③ 中国語会話、英会話の実践

やしまるのような台中日本人学校の子どもたち あいさつ世界一、温かさと活気のある台中校を創ろう		
<や> <u>やる気</u> をもってチャレンジすることができる	<し> 何事にも、 <u>真剣</u> に向き合うことができる	<まる> 違いを受け入れ、 <u>まるい</u> 心で過ごすことができる



台中校キャラクター「やしまる」

1. 学級数

小学部 6 学年 6 学級 中学部 3 学年 3 学級 特別支援学級 1 学級 合計 10 学級

2. 児童・生徒数

2025.4

【小学部】

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
男	5	7	5	9	7	9	42
女	8	4	17	6	7	4	46
計	13	11	22	15	14	13	88

【中学部】

	1 年	2 年	3 年	計	全校計
男	8	5	5	18	60
女	5	6	2	13	59
計	13	11	7	31	119

3. 職員体制

- 文科省派遣教員 16 名 ○ 現地採用教員 4 名 ○ 現地採用事務職員 2 名
○ 警備(契約) 2 名 ○ 用務員(契約) 1 名

計 25 名



保護者の皆様、ご入学・ご進級おめでとうございます。保健室からは、児童生徒の健康や様々な保健行事について「大王やし 保健だより」を通じてお伝えしていきます。今年度も学校保健活動にご協力をお願いいたします。お子さまの体調面や学校生活での配慮についてなどありましたら、遠慮なくご連絡ください。

保健室での対応について

[病気の場合]

- ・保健室で休養させ様子を見ます。回復の見込みがない場合は、担任と相談の上、保護者の方に迎えに来ていただきます。
- ・学校では内服薬・目薬はあげられません。ご家庭の判断で服薬が必要な場合は、自分で飲めるように練習した上で持参させてください。

[けがの場合]

- ・一時的な応急処置を行います。継続した治療は行いません。
- ・医療機関での処置が必要な場合は、保護者の方に連絡します。原則として保護者の方に病院へ連れて行っていただきます。ただし、けがの状況や程度によって学校で連れて行くこともあります。学校で連れて行く場合、保護者の方は全民保険証を持って医療機関へ来ていただくことになります。

★緊急病院：台中中港澄清病院（台中市西屯区台湾大道四段966号 04-22632250）

受診のおすすめについて

学校での健康診断は、病気の診断をするものではなく、スクリーニング（集団の中から病気の疑いのある人を選び出すこと）です。病気の疑いの有無を見つけて、病院で詳しく検査していただき、治療を行うためのものです。検診の結果、受診が必要な場合は「受診のおすすめ」をお渡ししています。病院で受診をすると「異常なし」と診断されることもありますが、学校での検診はあくまでも『可能性・疑い』の範囲での診断ですので、ご了承ください。

学校感染症について

学校は多くの子どもたちが集まって、勉強したり運動したりする場所のため、感染症が流行しやすい環境にあります。そこで、周囲への感染拡大を防ぐため、次のような学校感染症にかかった場合には、医師の診察を受け、出席停止の診断・指示を受けたら、すぐに学級担任にお知らせください。「出席停止」の措置が取られます。

主な学校感染症の例

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・百日咳・麻疹（はしか）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・風しん・水痘（みずぼうそう）・咽頭結膜熱（プール熱・腸病毒）・感染性胃腸炎（ノロウイルス）など

なお「出席停止」は、本人がゆっくり休んで、しっかり治せるようにするためでもあります。欠席扱いにはなりませんので、安心して休養してください。

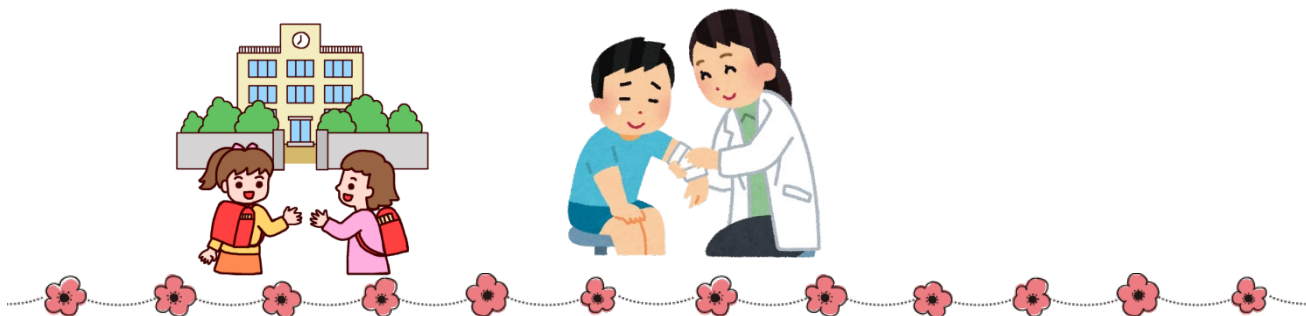
海外学校傷害保険について

本校では、海外子女教育振興財団の学校契約団体傷害保険に加入しています。この保険は、学校の管理下の授業（特別教育活動を含む）中・在校中・学校行事（運動会や避難訓練などの校内行事から学校の教職員が引率する修学旅行などの校外学習までを含む）参加中・登下校中における傷害に対して、医療機関を受診した際に、入院・通院日数及び手術・後遺障害に対して保険金が支払われるものです。（病気による死亡・後遺障害・入院・手術及び通院は、補償の対象外となります。）

保険金額について、死亡・後遺障害 1500 万円、入院保険金額 5000 円（1日につき）、通院保険金額 3000 円（1日につき）です。

学校管理下のけが対象ですが、登下校中など、教職員の目の届かないところで負傷して医療機関を受診した場合、担任を通して学校にお知らせください。ご連絡を受けた後に、必要書類をお送りします。なお、書類を整理し提出した後に保険金が払われますので、一定の期間時間がかかることもご了承ください。（保険金は、健康保険などの給付に関係なく支払われます。）ただし、学校から直接医療機関を受診した場合のご連絡は不要です。

ご不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。



★ぎょう虫・検尿検査について

5月2日（金）に、以下のものを配付します。いずれも、5月8日（木）が回収日となりますので、忘れないようにお願いいたします。

- 小1・4 … りょう虫検査テープ・検尿容器
- 小2・3・5・6・中学部 … 検尿容器のみ

健康診断

